# 体育科学習指導案

5年1組 36名 指導者 福元浩子

本授業では,以下の検証を行うものである。

- は、「コツ図」と動きを関連付けて考える手立てとして有効であったか。

#### 単 元 大きくまっすぐ回ろう!側方倒立回転「マット運動」 1

側方倒立回転のコツを見付け、友達と協力をしながら教え合ったり、自分の課題が解決できる場 を選んだりすることで、側方倒立回転を中心とした連続技をすることができるようにする。

### 3 単元の評価規準

- 腰を高く上げて倒立しながら側方へ直線上に回転して立ち、できそうな技へスムーズにつなぐ ことができる。 【運動の技能】
- 運動に進んで取り組み、安全に気を付けて友達と助け合って運動をすることができる。

【運動や健康・安全への関心・意欲・態度】

○ 体の部位に着目してコツを発見し、自分の動きに生かしたり、自分の課題を解決できる場を選 んだりすることができる。 【運動や健康・安全についての思考・判断】

#### 単元について

(1) 単元の価値

マット運動は、マットや器具を使って、これまでに身に付けた基盤となる動きを活用し ながら、自分の体を操作し、基本的な回転技や倒立技を中心に挑戦したい技に取り組むこと で、自己の能力に適した技ができるようになることをめざす運動である。

さらに、子どもにとってマット運動は、非日常的な動きを通して生じる感覚の楽しさを 経験することのできる運動である。そして、いろいろな技の中から自分でめあてを立てて練 習したり、できなかった技ができるようになったりしたときに達成感を感じる。また、基本 的な技に十分取り組んだ上で、それらの発展技に取り組んだり、技を繰り返したり組み合わ せたりすることで意欲が高まる運動でもある。しかし、マット運動は、「できる」「できな い」がはっきりしていることから、練習意欲が停滞し、十分に楽しさを味わうことができ ないこともある。そのため、意欲的に運動ができるような場の設定や教具を使用した練習方 法を工夫する必要がある。

本単元での運動の経験は、第6学年「自分なりの連続技」での回転や倒立などの動きをスムー ズにつなぐマット運動の動きへと発展していく。

### (2) 子どもの実態と指導

本学級の子どもたちは、運動好きな子どもが多く、体育科の授業だけでなく、休み時間も外で 元気よく遊んでいる。しかし、マット運動に関しては「回ると手が痛い」「回転するのが怖い」 などの理由で苦手としている児童が多い。

そこで、本単元においては、まず感覚づくりを行う時間(スキルタイム)を設定し「できそう だ」と感じることができるようにする。次に,本単元で共通に身に付けさせたい内容について, 課題解決的学習を展開する。その中で,運動の行い方や動きのコツなどについて一人一人の 考えを「見える化」できるように、「コツ図」(「見える図」とイラストや写真を組み合わせた もの)を用いるようにする。また、運動の行い方や動きのコツを全体で共有することができ るように,「コツ板」(「コツ図」を活用した体育科黒板) に考えや気付きを整理していく。また, 自他の課題を互いに解決することができるように「フォロータイム」を設定し、子ども同士 が互いの技を撮影し動画を見ながらアドバイスをすることで、自分の技の高まりや課題を実 感できるようにする。このような活動を進めることで、子ども一人一人が課題意識をもって よりよい動きに挑戦し、それを達成した時の喜びや体を動かすことの楽しさを味わうことが できるようにする。

## 5 指導計画 (総時数9時間)

| 過程     | =  | 主な学習活動   | 【評価規準】  |                     |  |
|--------|--|--|---|---------------------|--|
| —<br>次 | 1 オリエンテーション・マット運動のマット運動のマット運動の半年生までの目標や学・マット運動の楽しみがよい・さまりを守りながら友 【態:きまりを守りながら友」といる。これまでの運動経験を基うまで運動の経験で得た知識                | 動の学習内容を思いる習計画を考えなりのいる考えなりののをとなる動きを体験とできるしたりできる。 できる まましたり できる 想起した 理に、する。 想起した 運 | 出す。<br>めあてをもつ。<br>する。<br>),場の安全に気を付け7<br>について想起させ,学習<br>動の行い方について考え |                     |  |
|        | 2~8 学習の進め方を確認<br>スキルタイム  | し、運動に取り組む。   | )   |                     |  |
|        | 2  | 3  | 4・5・6・7 (本時)  | 8                   |  |
| 二次     | 《スキルタイム》<br>ゆりかご<br>手押し車<br>支持倒立   | 〈スキルタイム〉<br>ゆりかご<br>手押し車<br>かえるの足打ち  | 〈スキルタイム〉<br>手押し車<br>川跳び<br>支持倒立                                     | 〈スキルタイム〉<br>補充・発展   |  |
| (本時)   | (ねらい1) できるようになりたい技に挑戦する。<br>(ねらい2) できる技を組み合わせて、連続技に挑戦する。<br>【思・判:自分や友達の動き、コツ図から、側方倒立回転のコツを発見し、自分の動きに生かしたり、場を選んだりすることができる。】 |  |   |                     |  |
|        | 協同的な「学び合い」に<br>確にして話し合うことで,<br>ようにする。  | おいて,互いの動き「コツ図」と関連付け  | をタブレットで撮影し,<br>て解決方法や練習方法   | 動きを見る視点を明を考えることができる |  |
| Ξ.     | 9 マット運動の発表会をする。     ・ 発表会へ向けての動きの確かめをする。     ・ 活動を振り返り,自分の取組方や生活への生かし方を考える。  |  |   |                     |  |
| 次      | 活動を振り返り, 自分な<br>内容や方法で工夫した点,<br>うにする。  |  |   |                     |  |
|        | 【技:側方倒立回転を中心と  | した自分なりの連続  | 技を発表することができ   |                     |  |

### 6 本 時 (6/9)

#### (1) 目 標

側方倒立回転の動きのコツに気付いたり、そのコツを活用して練習したりして、側方倒立回転ができる。

#### (2) 評価規準

友達と協力し合いながら、側方倒立回転の動きのコツに気付き、練習方法を工夫したり、教え合ったりしながら運動することができる。 【運動や健康・安全についての思考・判断】

#### (3) 指導に当たって

本時の学習では、「スキルタイム」で、体を支持する感覚、逆さ感覚、あごをだしてバランスをとる感覚を十分に体験させる。また、それぞれの動きのコツを発見させたり、コツとなる動き方とその動く感覚を関連付けたりすることができるように、体の部位に着目して自分なりの表現で動きを伝え合う言語活動の充実を図るようにする。

ねらいをもとにした活動では、教具を工夫して段階的に練習したり、発見したコツを「コツ板」として整理したりすることで、集団での思考を「見える化」することができるようにする。また、フォロータイム」を設定し、子ども自身が体の部位に着目してアドバイスをすることで、動きを再確認しながら課題を解決することができるようにする。さらに、子どもの気付きや感想を発表する場を設定し、気付きの共有化を図ることで、より多くの子どもが達成感を味わい、次時への課題を明確にすることがができるようにする。

| (4)  |          | :の展開重点化するスキル [ ] 子ども  |   |
|------|----------|---|---|
| 過程   | 時間       |   |   |
|      |          | 1 本時のねらいを知り、活動のめあてをもつ。  |   |
| つか   |          | コツを生かして、大きくまっすぐな側方倒立  | 認することができるように体育黒板を活<br>  用する。  |
| した   |          | ロ転ができるようになろう。   |   |
|      | 5        | 回転がくさるようになった。   | された「コツ板」を準備し、見通しをも  |
| 見    |          | ・ 前時は足が曲がっていたから、脚を伸ばすよ  | って活動に取り組むことができるように  |
| 通    |          | うにゴムを使って練習しよう。  | する。   |
| す    |          | <ul><li>前時はまっすぐ回れなかったから、手と足の</li></ul>  | ○ 準備運動は、マット運動に必要な動き   |
|      |          | 着く位置に気を付けて練習しよう。  | を中心に体や心をほぐすことができるよ  |
|      | <b>X</b> |   | うにする。   |
|      |          | 2 準備運動・体ほぐしの運動を行う。  | , , <del>, , , , , , , , , , , , , , , , , </del>   |
|      |          | 3 スキルタイム  | 7○ 手押し車,川跳び,支持倒立などの技  |
|      |          | ・ 手のひらをぴんと伸ばして、肘にぐっと力を  | を行うことによって、側方倒立回転に必  |
|      |          | 入れると、上手に支えられるよ。   | 要な腕支持感覚、逆さ感覚を味わうこと  |
|      |          | ・ あごを出して倒立をすると、バランスがとれ  | ができるようにする。  |
|      |          |   | └○ 側方倒立回転のコツが部位ごとに整理  |
|      |          | 4 ねらいをもとにした活動を行う。   | された「コツ図」を掲示することで、「コ   |
|      |          |   | ツ図」と自分の動きを関連付け、自分の  |
| #11v |          | ねらい1  | 課題解決に生かすことができる。   |
| 挑    |          | 発見したコツを生かして,大きくまっすぐ<br>な側方倒立回転に挑戦しよう。   | │ ○ 協同的な「学び合い」においては,自<br>│ 分の動きの見て欲しい視点を明確に伝え   |
| 戦    |          | (1) 見付けた側方倒立回転のコツを確かめな  |   |
|      |          | がら、課題に応じた場を選び、工夫して網   |   |
| す    |          | 習する。 関連付ける  | ことができるようにする。  |
|      | 35       |   | ┌○ タブレットを用いることで, 自分の動   |
| る    |          | ・ 壁倒立 →足を勢いよく振り上げる  | きの課題と友達のアドバイスが結びつく  |
|      |          | ・ 壁倒立から側方へ回転→足を大きくひらく   | ようにする。アドバイスと映像をもとに、   |
|      |          | <ul><li>跳び箱をつかって→着手点をしっかりと見る</li><li>ラインマット→まっすぐ回る</li></ul>  | │ 「コツ図」と自分の動きを関連付けて考<br>│ え,練習に生かすことができるようにす  |
|      |          | (2) フォロータイム   |   |
|      |          |   | <u>ත</u> ු  |
|      |          | お互いにタブレットで撮影し、課題の部  | る。<br>** 大夫 1 - ha よ 1 - A x 3 - A x 1  |
|      |          | お互いにタブレットで撮影し,課題の部<br>位が改善されているか,映像を見ながらア   | ※ 友達と協力し合いながら、側方倒   |
|      |          | お互いにタブレットで撮影し,課題の部位が改善されているか,映像を見ながらアドバイスをする。 <b>関連付ける</b>  | ※ 友達と協力し合いながら、側方倒<br>立回転の動きのコツに気付き、練習   |
|      |          | お互いにタブレットで撮影し、課題の部位が改善されているか、映像を見ながらアドバイスをする。 関連付ける ねらい2  | ※ 友達と協力し合いながら、側方倒<br>立回転の動きのコツに気付き、練習<br>方法を工夫したり、教え合ったりし   |
|      |          | お互いにタブレットで撮影し、課題の部位が改善されているか、映像を見ながらアドバイスをする。 関連付ける ねらい 2   | ※ 友達と協力し合いながら、側方倒<br>立回転の動きのコツに気付き、練習<br>方法を工夫したり、教え合ったりし<br>ながら運動することができる。   |
|      |          | お互いにタブレットで撮影し、課題の部位が改善されているか、映像を見ながらアドバイスをする。 関連付ける ねらい 2   | <ul><li>※ 友達と協力し合いながら、側方倒</li><li>立回転の動きのコツに気付き、練習<br/>方法を工夫したり、教え合ったりし<br/>ながら運動することができる。</li><li>(観察)</li></ul>   |
|      |          | お互いにタブレットで撮影し、課題の部位が改善されているか、映像を見ながらアドバイスをする。 関連付ける ねらい 2   | ※ 友達と協力し合いながら、側方倒<br>立回転の動きのコツに気付き、練習<br>方法を工夫したり、教え合ったりし<br>ながら運動することができる。   |
|      |          | お互いにタブレットで撮影し、課題の部位が改善されているか、映像を見ながらアドバイスをする。 関連付ける ねらい 2 側方倒立回転を入れた連続技に挑戦しよう。 (1) 側方倒立回転を入れた連続技に挑戦する。 (2) 動きのポイントを確かめたり、見付けたりしながら練習する。   | <ul> <li>※ 友達と協力し合いながら、側方倒</li> <li>立回転の動きのコツに気付き、練習<br/>方法を工夫したり、教え合ったりし<br/>ながら運動することができる。         <ul> <li>(観察)</li> <li>課題に応じた場を選び、友</li> <li>達と協力しながら意欲的に活</li> </ul> </li> </ul>  |
|      |          | お互いにタブレットで撮影し、課題の部位が改善されているか、映像を見ながらアドバイスをする。 関連付ける ねらい2 側方倒立回転を入れた連続技に挑戦しよう。 (1) 側方倒立回転を入れた連続技に挑戦する。 (2) 動きのポイントを確かめたり、見付けたりしながら練習する。 (3) 技と技がスムーズにつながっているか、   | <ul><li>* 友達と協力し合いながら、側方倒立回転の動きのコツに気付き、練習方法を工夫したり、教え合ったりしながら運動することができる。</li><li>(観察)</li><li>課題に応じた場を選び、友</li></ul>   |
|      |          | お互いにタブレットで撮影し、課題の部位が改善されているか、映像を見ながらアドバイスをする。 関連付ける ねらい 2 側方倒立回転を入れた連続技に挑戦しよう。 (1) 側方倒立回転を入れた連続技に挑戦する。 (2) 動きのポイントを確かめたり、見付けたりしながら練習する。   | <ul> <li>※ 友達と協力し合いながら、側方倒</li> <li>立回転の動きのコツに気付き、練習<br/>方法を工夫したり、教え合ったりし<br/>ながら運動することができる。         <ul> <li>(観察)</li> <li>課題に応じた場を選び、友</li> <li>達と協力しながら意欲的に活</li> </ul> </li> </ul>  |
|      |          | お互いにタブレットで撮影し、課題の部位が改善されているか、映像を見ながらアドバイスをする。 関連付ける ねらい2 側方倒立回転を入れた連続技に挑戦しよう。 (1) 側方倒立回転を入れた連続技に挑戦する。 (2) 動きのポイントを確かめたり、見付けたりしながら練習する。 (3) 技と技がスムーズにつながっているか、お互いにアドバイスをする。  | <ul> <li>※ 友達と協力し合いながら、側方倒</li> <li>立回転の動きのコツに気付き、練習<br/>方法を工夫したり、教え合ったりしながら運動することができる。         <ul> <li>(観察)</li> <li>達と協力しながら意欲的に活動している子どもには、称賛</li> </ul> </li> </ul>  |
|      | *        | お互いにタブレットで撮影し、課題の部位が改善されているか、映像を見ながらアドバイスをする。 関連付ける ねらい2 側方倒立回転を入れた連続技に挑戦しよう。 (1) 側方倒立回転を入れた連続技に挑戦する。 (2) 動きのポイントを確かめたり、見付けたりしながら練習する。 (3) 技と技がスムーズにつながっているか、お互いにアドバイスをする。  | <ul> <li>※ 友達と協力し合いながら、側方倒</li> <li>立回転の動きのコツに気付き、練習<br/>方法を工夫したり、教え合ったりしながら運動することができる。         <ul> <li>(観察)</li> <li>課題に応じた場を選び、友</li> <li>達と協力しながら意欲的に活動している子どもには、称替し、価値付けを行う。</li> </ul> </li> </ul>  |
|      | *        | お互いにタブレットで撮影し、課題の部位が改善されているか、映像を見ながらアドバイスをする。 関連付ける ねらい2 側方倒立回転を入れた連続技に挑戦しよう。 (1) 側方倒立回転を入れた連続技に挑戦する。 (2) 動きのポイントを確かめたり、見付けたりしながら練習する。 (3) 技と技がスムーズにつながっているか、お互いにアドバイスをする。 ・ 使った部位のストレッチを行う。  | ※ 友達と協力し合いながら、側方倒<br>立回転の動きのコツに気付き、練習<br>方法を工夫したり、教え合ったりし<br>ながら運動することができる。<br>(観察)<br>(観察)<br>(課題に応じた場を選び、友<br>達と協力しながら意欲的に活<br>動している子どもには、称賛<br>し、価値付けを行う。  |
|      | *        | お互いにタブレットで撮影し、課題の部位が改善されているか、映像を見ながらアドバイスをする。 関連付ける ねらい2 側方倒立回転を入れた連続技に挑戦しよう。 (1) 側方倒立回転を入れた連続技に挑戦する。 (2) 動きのポイントを確かめたり、見付けたりしながら練習する。 (3) 技と技がスムーズにつながっているか、お互いにアドバイスをする。  | ※ 友達と協力し合いながら、側方倒<br>立回転の動きのコツに気付き、練習<br>方法を工夫したり、教え合ったりし<br>ながら運動することができる。<br>(観察)<br>(観察)<br>(観察)<br>(連盟に応じた場を選び、友<br>達と協力しながら意欲的に活<br>動している子どもには、称替<br>し、価値付けを行う。<br>○ 自分の課題が明確になって<br>いない子どもには、タブレッ   |
|      |          | お互いにタブレットで撮影し、課題の部位が改善されているか、映像を見ながらアドバイスをする。 関連付ける ねらい2 側方倒立回転を入れた連続技に挑戦しよう。 (1) 側方倒立回転を入れた連続技に挑戦する。 (2) 動きのポイントを確かめたり、見付けたりしながら練習する。 (3) 技と技がスムーズにつながっているか、お互いにアドバイスをする。 ・ 使った部位のストレッチを行う。 6 本時の学習を振り返り、次時への見通しを  | ** 友達と協力し合いながら,側方倒<br>立回転の動きのコツに気付き,練習<br>方法を工夫したり,教え合ったりしながら運動することができる。<br>(観察)<br>(観察)<br>(間を)<br>(記に応じた場を選び,友<br>達と協力しながら意欲的に活動している子どもには,称替し、価値付けを行う。<br>(1)<br>(1)<br>(2)<br>(3)<br>(4)<br>(4)<br>(5)<br>(6)<br>(7)<br>(7)<br>(7)<br>(8)<br>(8)<br>(8)<br>(7)<br>(8)<br>(7)<br>(8)<br>(8)<br>(7)<br>(8)<br>(8)<br>(7)<br>(8)<br>(7)<br>(8)<br>(8)<br>(7)<br>(8)<br>(8)<br>(9)<br>(1)<br>(1)<br>(1)<br>(1)<br>(1)<br>(1)<br>(1)<br>(1  |
| 振    | *        | お互いにタブレットで撮影し、課題の部位が改善されているか、映像を見ながらアドバイスをする。 関連付ける ねらい2 側方倒立回転を入れた連続技に挑戦しよう。 (1) 側方倒立回転を入れた連続技に挑戦する。 (2) 動きのポイントを確かめたり、見付けたりしながら練習する。 (3) 技と技がスムーズにつながっているか、お互いにアドバイスをする。 ・ 使った部位のストレッチを行う。 6 本時の学習を振り返り、次時への見通しを  | * 友達と協力し合いながら,側方倒立回転の動きのコツに気付き,練習方法を工夫したり,教え合ったりしながら。   |
|      |          | お互いにタブレットで撮影し、課題の部位が改善されているか、映像を見ながらアドバイスをする。 関連付ける ねらい2 側方倒立回転を入れた連続技に挑戦しよう。 (1) 側方倒立回転を入れた連続技に挑戦する。 (2) 動きのポイントを確かめたり、見付けたりしながら練習する。 (3) 技と技がスムーズにつながっているか、お互いにアドバイスをする。 ・ 使った部位のストレッチを行う。 ・ 本時の学習を振り返り、次時への見通しをもつ。 ・ 足がゴムにあたるように意識して練習をしたら、大きな側方倒立回転ができるようになった   | ** 友達と協力し合いながら,側方倒 立回転の動きのコツに気付き,練習 方法を正ちり,教え合ったりしなができる。 (観察) (観察) (観察) (関語の動きのことができる。 (観察) (観察) (関語に応じた場を意欲的、称替 (以下ののでは、がいる子どもに、ないの子ともりない子どもになって、といるでは、ない子どもには、がでいた。 はない子どもには、がでいたがでは、がではは、がでいたがでは、がでいたがでは、は、がでいたがでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、  |
| 振り   | *        | お互いにタブレットで撮影し、課題の部位が改善されているか、映像を見ながらアドバイスをする。 関連付ける ねらい2 側方倒立回転を入れた連続技に挑戦しよう。 (1) 側方倒立回転を入れた連続技に挑戦する。 (2) 動きのポイントを確かめたり、見付けたりしながら練習する。 (3) 技と技がスムーズにつながっているか、お互いにアドバイスをする。 ・ 使った部位のストレッチを行う。 ・ 本時の学習を振り返り、次時への見通しをもつ。 ・ 足がゴムにあたるように意識して練習をしたら、大きな側方倒立回転ができるようになったよ。次は、まっすぐ回れるように、手と足を着  | * 友達と協力し合いながら,側方倒立回転の動きのコツに気付き,練習方法を工夫したり,教え合ったりしながら。   |
|      | 5 -      | お互いにタブレットで撮影し、課題の部位が改善されているか、映像を見ながらアドバイスをする。 関連付ける ねらい2 側方倒立回転を入れた連続技に挑戦しよう。 (1) 側方倒立回転を入れた連続技に挑戦しよう。 (1) 側方倒立回転を入れた連続技に挑戦する。 (2) 動きのポイントを確かめたり、見付けたりしながら練習する。 (3) 技と技がスムーズにつながっているか、お互いにアドバイスをする。 ・ 使った部位のストレッチを行う。 6 本時の学習を振り返り、次時への見通しをもつ。  ・ 足がゴムにあたるように意識して練習をしたら、大きな側方倒立回転ができるようになったよ。次は、まっすぐ回れるように、手と足を着く場所に気を付けて練習しよう。 | ※ 友達と協力し合いながら,側方倒<br>立回転の動きのコツに気付き,練習<br>方法を運動することができる。<br>(観察)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で、)<br>(で )<br>(で ) |
| b    | 5        | お互いにタブレットで撮影し、課題の部位が改善されているか、映像を見ながらアドバイスをする。 関連付ける ねらい2 側方倒立回転を入れた連続技に挑戦しよう。 (1) 側方倒立回転を入れた連続技に挑戦する。 (2) 動きのポイントを確かめたり、見付けたりしながら練習する。 (3) 技と技がスムーズにつながっているか、お互いにアドバイスをする。 ・ 使った部位のストレッチを行う。 ・ 本時の学習を振り返り、次時への見通しをもつ。 ・ 足がゴムにあたるように意識して練習をしたら、大きな側方倒立回転ができるようになったよ。次は、まっすぐ回れるように、手と足を着く場所に気を付けて練習しよう。・ 友達が「手・手・足・足」とリズムを言って     | ** 友達と協力し合いながら,側方倒 立回転の動きのコツに気付き,練習 方法を正ちり,教え合ったりしなができる。 (観察) (観察) (観察) (関語の動きのことができる。 (観察) (観察) (関語に応じた場を意欲的、称替 (以下ののでは、がいる子どもに、ないの子ともりない子どもになって、といるでは、ない子どもには、がでいた。 はない子どもには、がでいたがでは、がではは、がでいたがでは、がでいたがでは、は、がでいたがでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、  |
| b    | 5        | お互いにタブレットで撮影し、課題の部位が改善されているか、映像を見ながらアドバイスをする。 関連付ける ねらい2 側方倒立回転を入れた連続技に挑戦しよう。 (1) 側方倒立回転を入れた連続技に挑戦しよう。 (1) 側方倒立回転を入れた連続技に挑戦する。 (2) 動きのポイントを確かめたり、見付けたりしながら練習する。 (3) 技と技がスムーズにつながっているか、お互いにアドバイスをする。 ・ 使った部位のストレッチを行う。 6 本時の学習を振り返り、次時への見通しをもつ。  ・ 足がゴムにあたるように意識して練習をしたら、大きな側方倒立回転ができるようになったよ。次は、まっすぐ回れるように、手と足を着く場所に気を付けて練習しよう。 | ※ 友達と協力し合いながら,側方倒<br>立可転の動きのように気付き,練りしたがら。<br>一   |
| り返   | 5        | お互いにタブレットで撮影し、課題の部位が改善されているか、映像を見ながらアドバイスをする。   | ※ 友達と協力し合いながら,側方倒<br>立可転の動きのようとができる。<br>(観察)<br>立可転を工夫しなができる。<br>(観察)<br>でできる。<br>(観察)<br>ででできる。<br>(観察)<br>ででできる。<br>(観察)<br>ででできる。<br>ででできる。<br>のよびがりの表出には、から、自分なりの表現方法で発表できるようにないから、自分なりの表現方法で発表できるようにより、といいのようにはなりを表したないが、と、もの表現方法で発表できるようによりの表現方法で発表できるようになりの表現方法で発表できるようになりの表現方法で発表できるよ   |
| り返   | 5        | お互いにタブレットで撮影し、課題の部位が改善されているか、映像を見ながらアドバイスをする。   | ** 友達と協力し合いながら,側方倒 立三転の動きのコツに気付き,練りし 立三を取り、教え合ったり,教え合ったり。 (観察) (観察) (ではどんながら,自分なりにしたがいきる。 (観察) (でできるには、 はどんなな動きがでできるようになりの表現方法で発表したりの表現方法で発表したりの表現方法で発表したりの表現方法で発表したりの表現方法で発表したら。) (といなりの表現方法で発表したりの表現方法で発表したら。) (といなりの表現方法で発表したら。) (といなりの表現方法で発表したらいなりの表現方法で発表したらいないというに対している。) (思知さいと思いないと思いないというと思いないと思いないと思いないと思いないと思いないと  |
| り返   | 5        | お互いにタブレットで撮影し、課題の部位が改善されているか、映像を見ながらアドバイスをする。   | ** 友達と協力し合いながら,側方倒<br>を達の動きしたり,教え合った。<br>「となができる。<br>「となができる。」<br>「という。」<br>ででできるには、は、は、は、は、は、というとがででできる。」<br>「というには、がいいったのの子用では、ででできるででででもの子がででできるがででできる。」<br>「というには、ないの子のでででは、はいったが、いったが、はないのででででででででででででいるようになかりまる。」<br>「というなりの表したりででできるようにないから、自分なりの表現方法で発表したりでいる。」<br>「ないなりの表現方法で発表したりでになりている。」<br>「ないなりの表現方法で発表したりでになりででできるようにないか。」<br>ではいる。<br>ででできるようにないから、自分なりの表現方法で発表したりでいてスをしたりでいて、スをしたりでいて、スをしたりでいて、スをしたりでいて、スをしたりでいて、スをしたりでいて、スをしたりでいて、スをしたりでは、スをしたりでいて、スをしたりでは、スをしたりでは、スをしたりでいて、スをしたりでは、スをしたりで  |
| り返   | 5        | お互いにタブレットで撮影し、課題の部位が改善されているか、映像を見ながらアドバイスをする。   | ** 友達と協力し合いながら,側方倒 立三転の動きのコツに気付き,練りし 立三を取り、教え合ったり,教え合ったり。 (観察) (観察) (ではどんながら,自分なりにしたがいきる。 (観察) (でできるには、 はどんなな動きがでできるようになりの表現方法で発表したりの表現方法で発表したりの表現方法で発表したりの表現方法で発表したりの表現方法で発表したら。) (といなりの表現方法で発表したりの表現方法で発表したら。) (といなりの表現方法で発表したら。) (といなりの表現方法で発表したらいなりの表現方法で発表したらいないというに対している。) (思知さいと思いないと思いないというと思いないと思いないと思いないと思いないと思いないと  |